

科目名 (Eng)	会計理論 (Accounting Theory)							
担当教員	渡部 美紀子							
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報 学科	5	通年	必修	2	(60)	専門	A
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応： 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3). 4). JABEE基準1 (1)との対応：(d)-(1). (g). (h).							
授業の概要と方針	ビジネスの基礎といわれる会計を学ぶ。全経簿記1級以上の会計学を学習する。『財務会計』で学んだ株式会社の経理一般の知識を基に、特殊商品売買の手続きについても学習する。							
到達目標	①財務会計の基礎理論が理解出来る。 ②株式会社の帳簿組織を理解し、それに基づいた財務諸表を作成することが出来る。 ③簿記能力検定試験1級会計の取得を目指し、検定レベルの問題を解くことが出来る。							
授業計画								
	週	授業項目	理解すべき内容					準備学習
前期	1	イントロダクション	授業の進め方					前回の授業内容について、復習し、テキストの問題を解いておくこと。
	2	一般商品販売 (1)	期末棚卸資産の評価					
	3	一般商品販売 (2)	原価率・利益率					
	4	特殊商品販売 (1)	試用販売					
	5	特殊商品販売 (2)	委託販売					
	6	特殊商品販売 (3)	割賦販売					
	7	特殊商品販売 (4)	先物売買・長期請負工事					
	8	復習						
	9	流動資産	分類基準・銀行勘定調整表・有価証券					
	10	固定資産	有形固定資産・無形固定資産・投資等					
	11	繰延資産	繰延資産					
	12	会計理論 (1)	費用収益対応の原則					
	13	会計理論 (2)	実現主義・発生主義					
	14	会計理論 (3)	原価主義・時価主義					
	15	復習						
後期	16	負債 (1)	引当金等					前回の授業内容について、復習し、テキストの問題を解いておくこと。
	17	負債 (2)	偶発債務・社債					
	18	純資産 (1)	分類・増資および減資					
	19	純資産 (2)	剰余金と積立金					
	20	純資産 (3)	株主資本等計算書					
	21	特殊論点 (1)	推定問題					
	22	特殊論点 (2)	外貨建取引					
	23	復習						
	24	特殊論点 (1)	本支店会計					
	25	特殊論点 (2)	連結財務諸表					
	26	経営分析	経営分析					
	27	総合問題 (1)	総合問題演習					
	28	総合問題 (2)	総合問題演習					
	29	総合問題 (3)	総合問題演習					
	30	総合演習	1年間のまとめ					
試験について	前期試験は実施する。後期試験は実施する。							
評価方法	定期試験70%，課題30%で総合的に評価する。							
教科書	『合格テキスト日商簿記1級 商業簿記・会計学(1)Ver. 6. 1』TAC簿記検定講座，『完全分類 全経簿記，1級会計』英光社，『全経簿記 改訂ワークブック，1級会計』英光社；配布プリント							
参考書								
関連科目								
履修上の注意	1級会計は、これまでの学習に比べて急激にレベルが上昇するので、資格取得にはかなりの勉強時間を割くことが必要である。簿記能力検定の過去問題にも積極的に取り組むこと。							